

# 鳥取県感染症発生動向調査情報(月報)

令和5年10月13日(金)  
鳥取県生活環境部衛生環境研究所

## 令和5年第36週から第39週までの患者報告の状況

### 1 報告の多い疾病(インフルエンザ/COVID-19 定点29、小児科定点19、眼科定点5、基幹定点5からの報告数)

今回(36週～39週)4週 (R5.9.4～R5.10.1)	前回(32週～35週)4週 (R5.8.7～R5.9.3)	前々回(28週～31週)4週 (R5.7.10～R5.8.6)
1 新型コロナウイルス感染症 (1,409) [↓1,013]	1 新型コロナウイルス感染症 (2,422)	1 新型コロナウイルス感染症 (2,324)
2 インフルエンザ (575) [↑382]	2 感染性胃腸炎 (247)	2 感染性胃腸炎 (322)
3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(309) [↑101]	3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (208)	3 RSウイルス感染症 (321)
4 感染性胃腸炎 (235) [↓12]	4 インフルエンザ (193)	4 ヘルパンギーナ (301)
5 手足口病 (213) [↑26]	5 手足口病 (187)	5 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 (203)
6 その他 (160) [↓113]	6 その他 (273)	6 その他 (342)
(合計 2,901)	(合計 3,530)	(合計 3,813)

※[ ]内は前回との比較を表す。↑は増加したもの、↓は減少したもの、数値は増減の件数である。

### 2 前回との比較増減

全体の報告数は2,901件であり、18%(629件)の減となった。

増加した疾病	減少した疾病
インフルエンザ 198%	RSウイルス感染症 60%
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 49%	新型コロナウイルス感染症 42%
手足口病 14%	ヘルパンギーナ 41%
	感染性胃腸炎 5%

### 3 コメント

- 新型コロナウイルス感染症は、7月下旬をピークに減少傾向が続き、収束に向かいつつあります。なお、新型コロナウイルスの感染力の高さに変わらないため、エアロゾルを意識した換気や手洗い、近接した会話時や混雑した場所、医療機関へ行かれる際などの場面に応じたマスク着用により感染を防止するとともに、ワクチン接種を検討しましょう。咽頭痛や発熱など体調が悪い場合や陽性が判明した場合は自宅で安静に過ごし、症状に応じて医療機関を受診される際は、事前に電話相談の上、受診しましょう。
- インフルエンザが増加しており、集団感染事例も継続的に確認されています。例年より流行が早まっていますので、新型コロナと同様に、手洗い、場面に応じたマスク着用などの感染防止対策や、ワクチン接種の検討をお願いします。
- A群溶血性レンサ球菌咽頭炎が増加しており、県内全域にA群溶血性レンサ球菌咽頭炎警報を発令しています。手洗い、消毒等の感染予防をお願いします。
- 手足口病警報を発令しています。原因となるウイルスにアルコール消毒が効きにくいいため、手洗いの徹底や換気などの感染予防をお願いします。
- 西部地区において、重症熱性血小板減少症候群、東部地区において日本紅斑熱が確認されています。いずれも病原体を保有するダニに刺されることで感染します。野山等に入るときは、長袖、長ズボンの着用、ダニ忌避剤の使用などの予防対策をとることが必要です。
- 梅毒が増加しており、注意が必要です。本年は9月末時点で昨年1年間の15件を上回る25件の感染が報告されています。早期発見と適切な治療が必要です。感染の不安があるときは、早めに医療機関や保健所で検査を受けましょう。

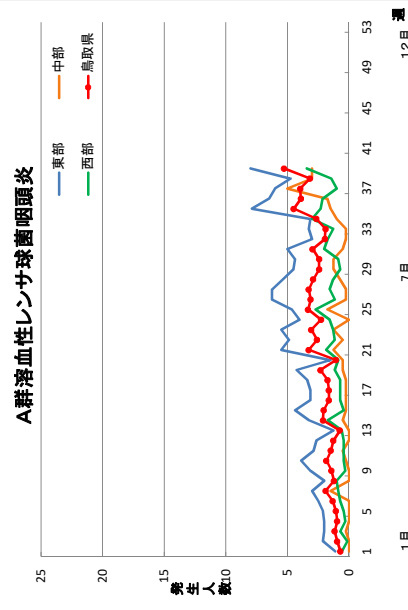
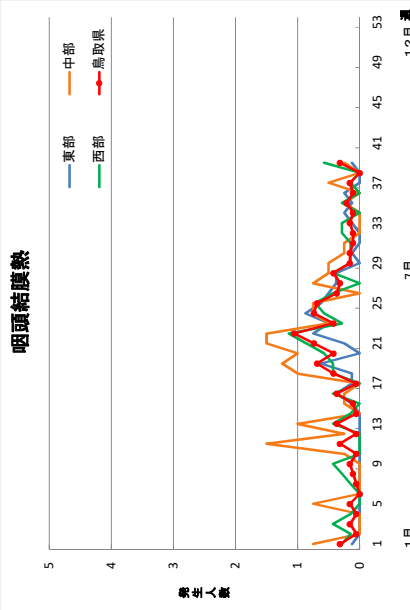
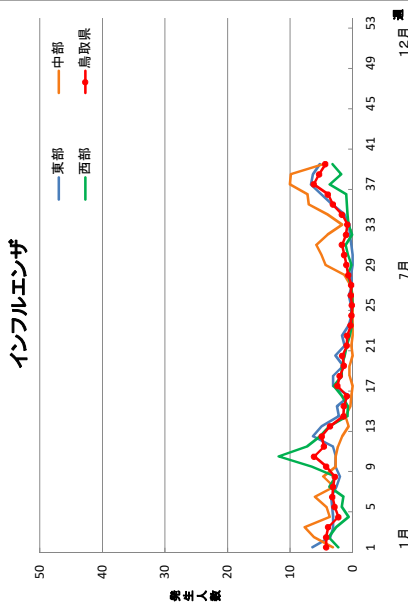
# 令和5年第36週～第39週の報告患者数

令和5年10月5日 作成

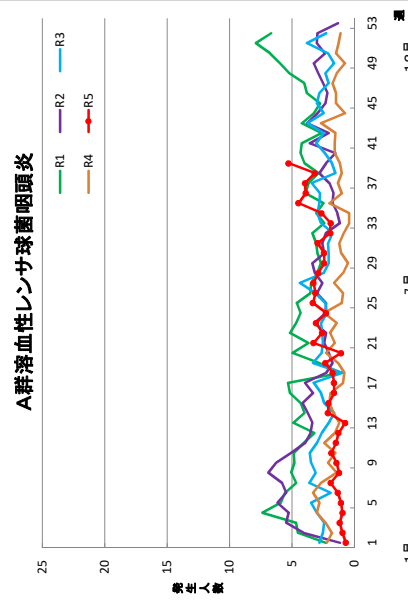
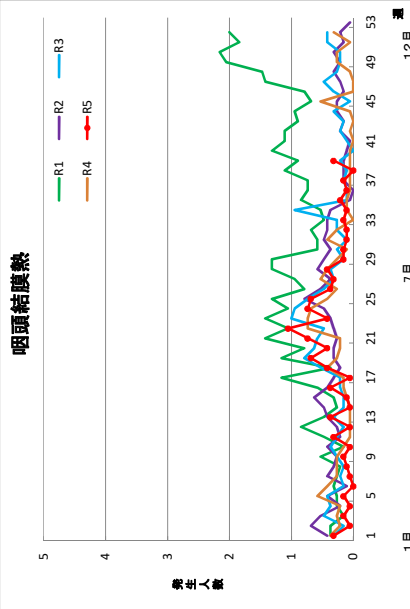
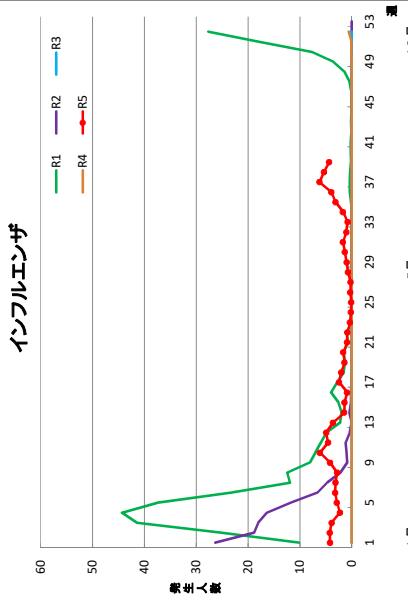
区 分	今回報告患者数 第36週～第39週(4週分)					前回報告患者数 第32週～第35週(4週分)				前々回報告患者数 第28週～第31週(4週分)				前回比 増 減	令和5年 患者数 累 計
	東部	中部	西部	計	増減	東部	中部	西部	計	東部	中部	西部	計		
	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
インフルエンザ/COVID-19定点数	(12)	(6)	(11)	(29)		(12)	(6)	(11)	(29)	(12)	(6)	(11)	(29)		
1 インフルエンザ	279	190	106	575	382	66	100	27	193	5	99	31	135	198%	2,755
2 新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	445	293	671	1,409	-1,013	862	585	975	2,422	792	572	960	2,324	-42%	7,461
小児科定点数	(8)	(4)	(7)	(19)		(8)	(4)	(7)	(19)	(8)	(4)	(7)	(19)		
3 咽頭結膜熱	3	3	5	11	0	4	1	6	11	4	6	6	16	0%	195
4 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	202	51	56	309	101	138	12	58	208	154	15	34	203	49%	1,657
5 感染性胃腸炎	92	84	59	235	-12	102	91	54	247	136	117	69	322	-5%	4,756
6 水痘	7	3	0	10	6	4	0	0	4	3	2	1	6	150%	40
7 手足口病	60	82	71	213	26	24	52	111	187	8	40	116	164	14%	664
8 伝染性紅斑	0	0	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	—	7
9 突発性発疹	4	0	7	11	2	3	1	5	9	4	2	8	14	22%	176
10 ヘルパンギーナ	14	22	32	68	-47	14	46	55	115	46	82	173	301	-41%	964
11 流行性耳下腺炎	0	3	0	3	3	0	0	0	0	0	1	2	3	—	12
12 RSウイルス感染症	23	22	6	51	-77	35	58	35	128	66	75	180	321	-60%	903
眼科定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
13 急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	1
14 流行性角結膜炎	2	0	2	4	0	3	0	1	4	2	0	1	3	0%	21
基幹定点数	(2)	(1)	(2)	(5)		(2)	(1)	(2)	(5)	(2)	(1)	(2)	(5)		
15 細菌性髄膜炎	0	0	0	0	-1	1	0	0	1	0	0	0	0	-100%	4
16 無菌性髄膜炎	0	0	0	0	-1	1	0	0	1	1	0	0	1	-100%	5
17 マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0
18 クラミジア肺炎 (オウム病を除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	0
19 感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	—	5
合 計	1,131	753	1,017	2,901	-629	1,257	946	1,327	3,530	1,221	1,011	1,581	3,813	-18%	19,626

注)新型コロナウイルス感染症(COVID-19)は、令和5年第19週からの報告件数。

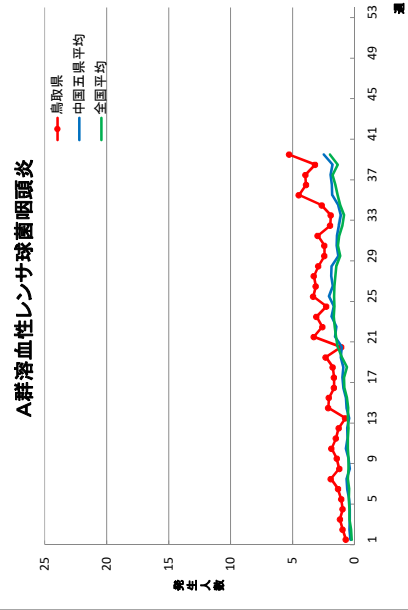
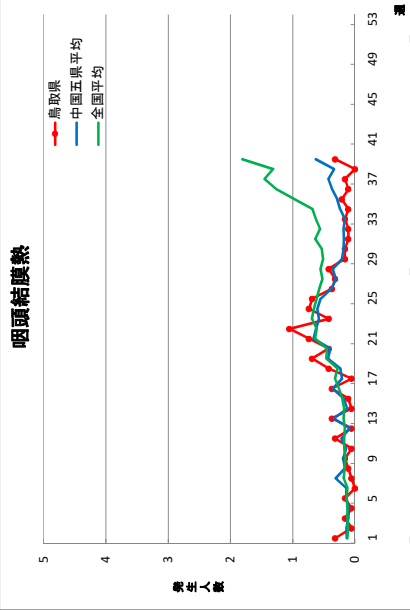
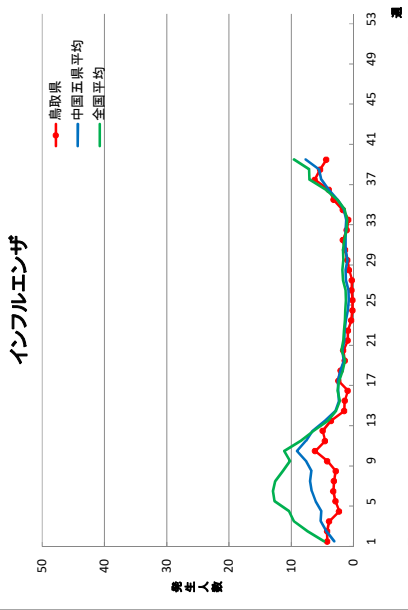
地区発生状況グラフ(定点当たり)



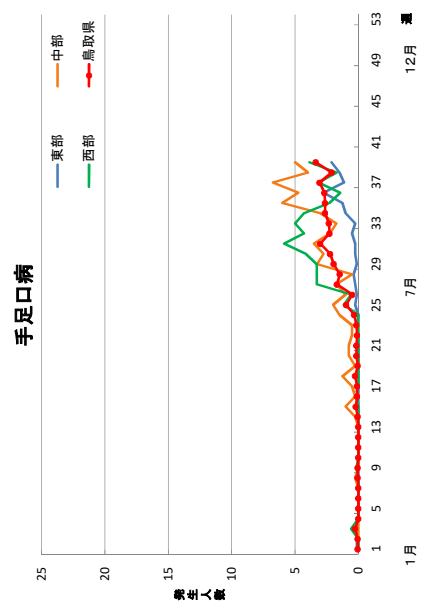
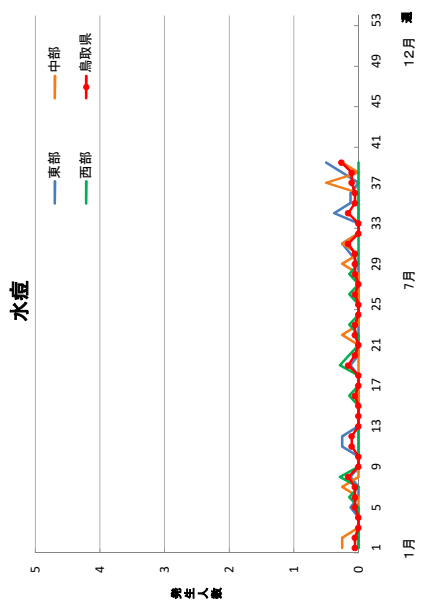
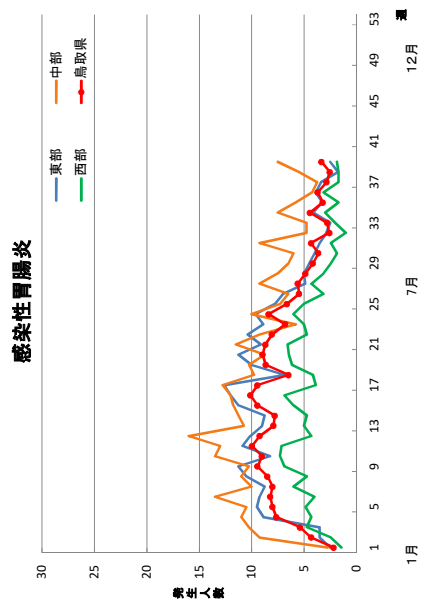
年次別発生状況グラフ(定点当たり)



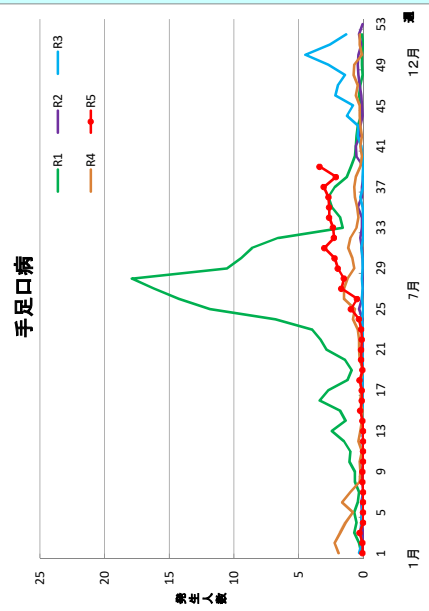
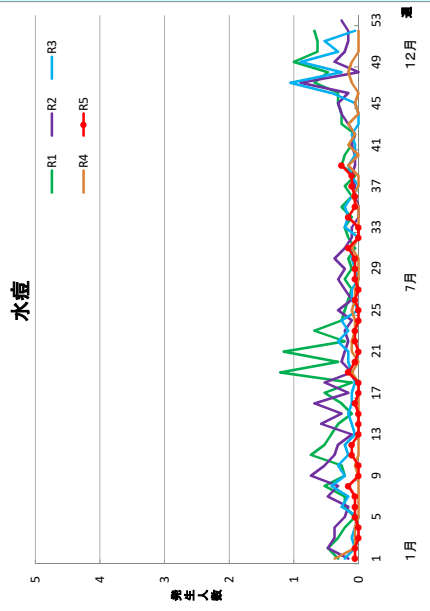
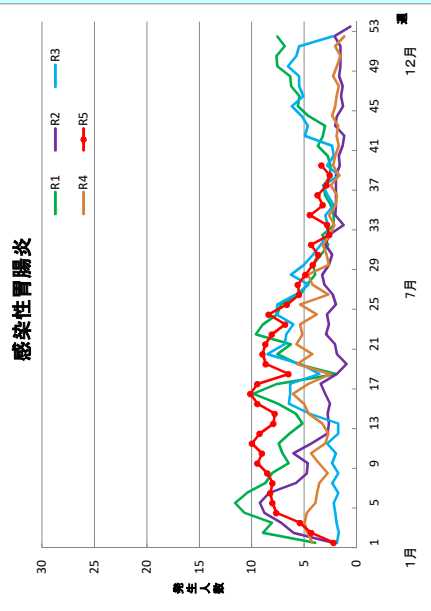
中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



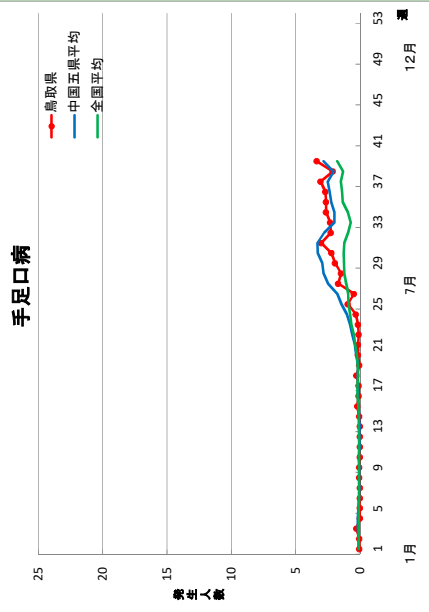
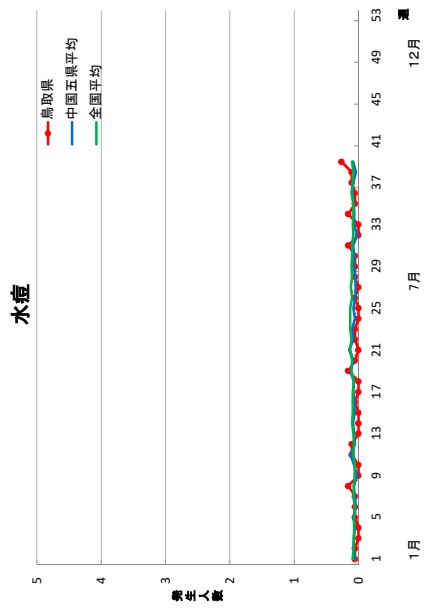
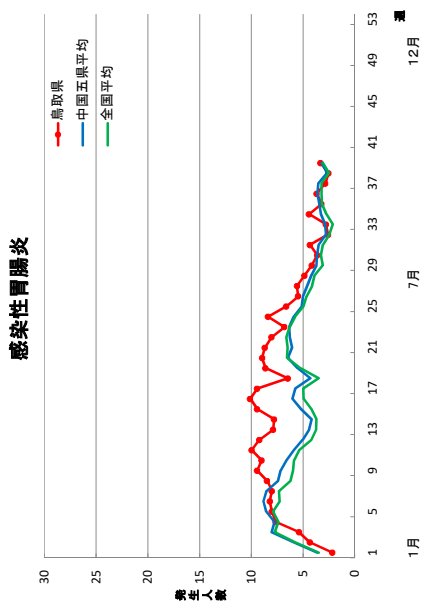
### 地区発生状況グラフ(定点当たり)



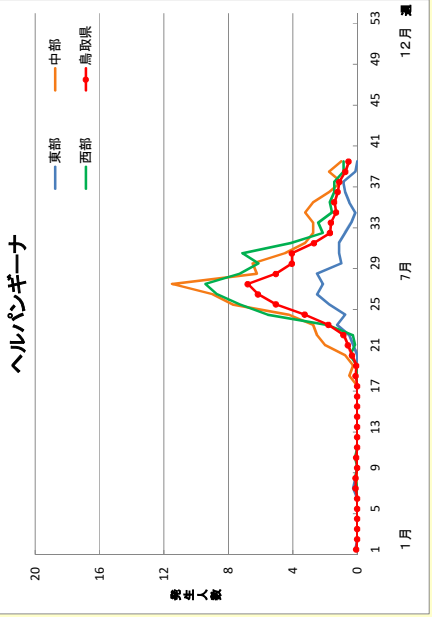
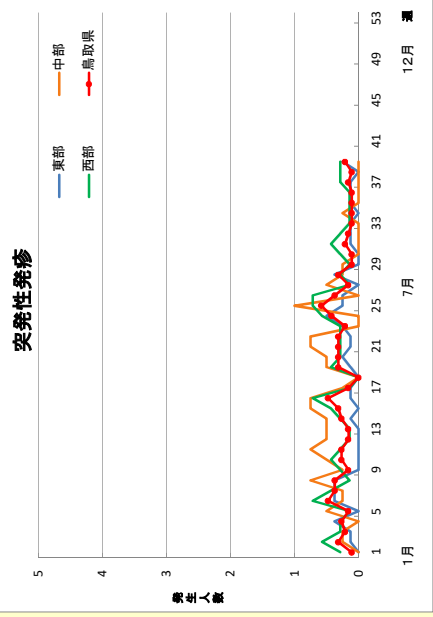
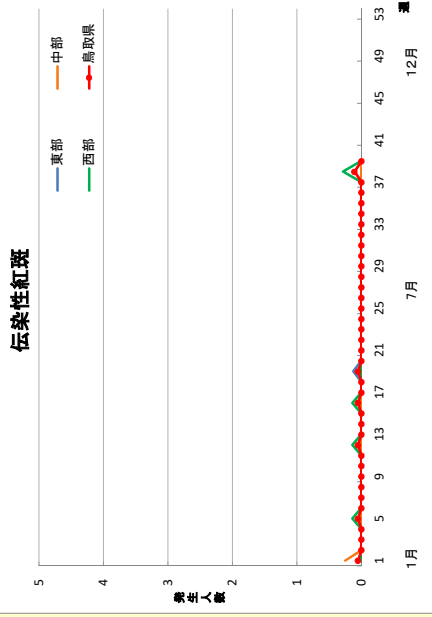
### 年次別発生状況グラフ(定点当たり)



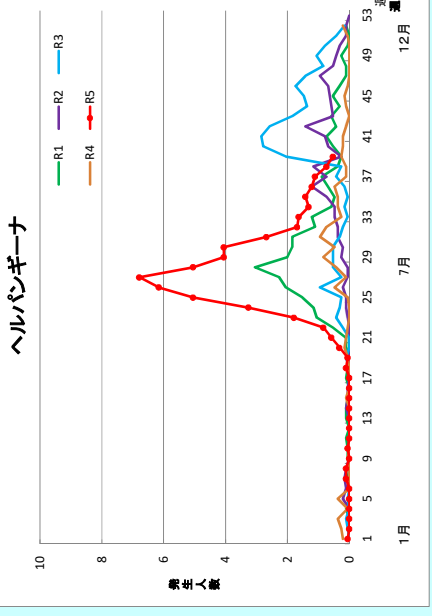
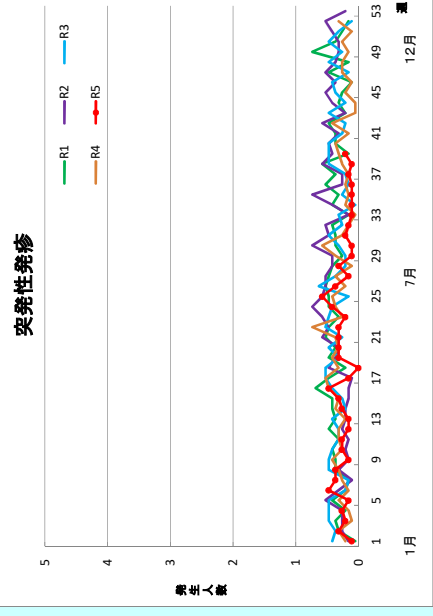
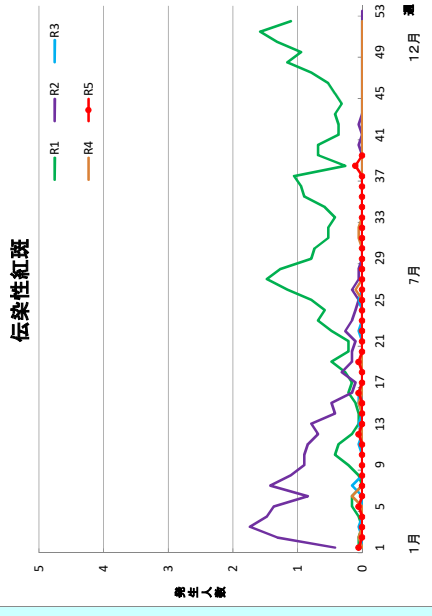
### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)



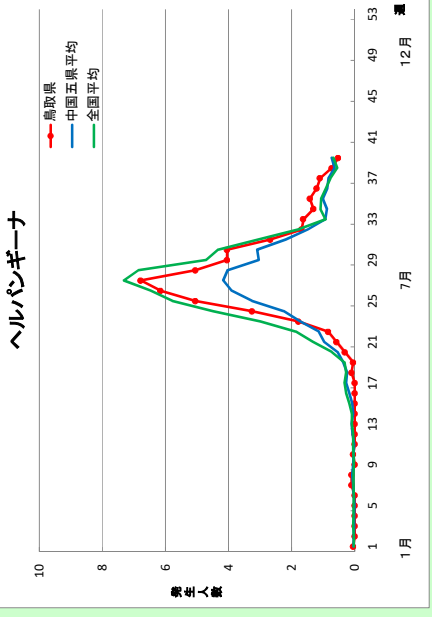
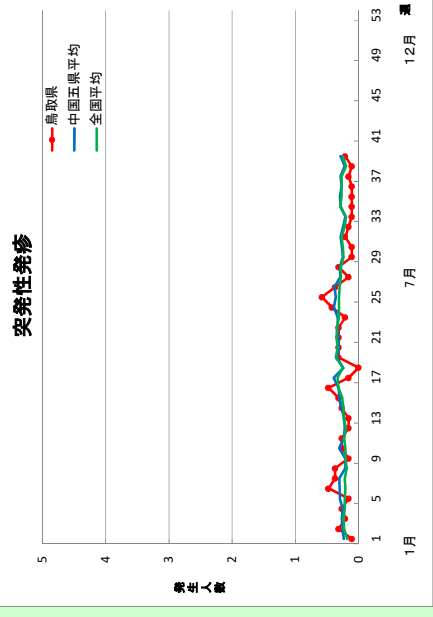
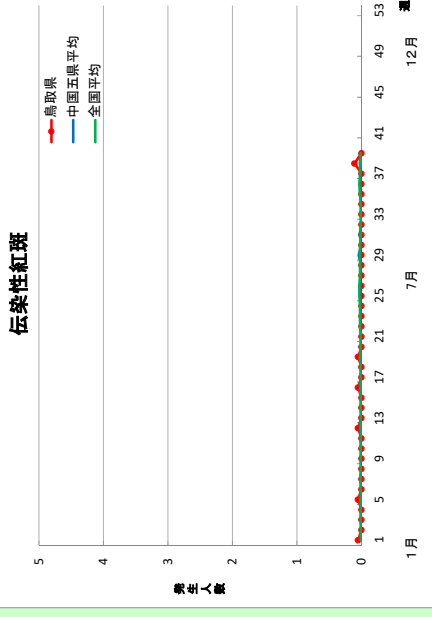
### 地区発生状況グラフ(定点当たり)



### 年次別発生状況グラフ(定点当たり)

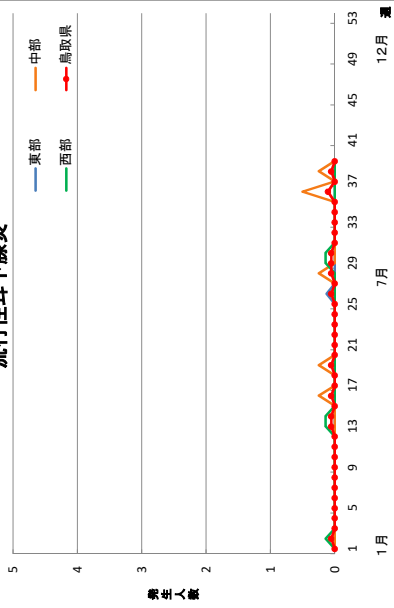


### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

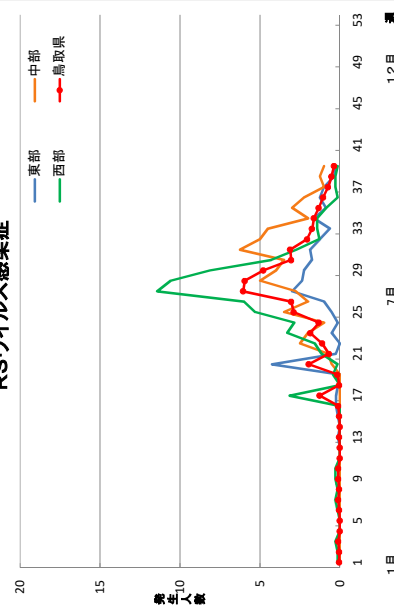


### 地区発生状況グラフ(定点当たり)

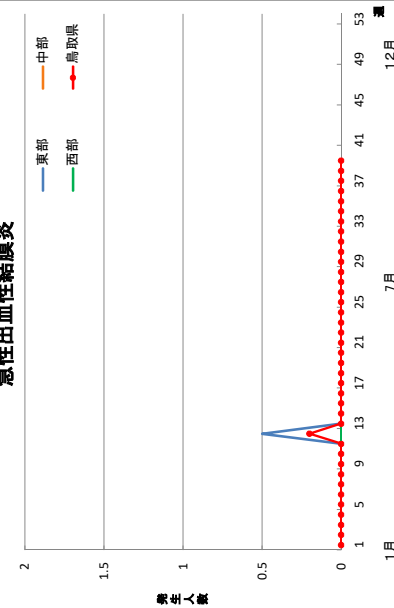
流行性耳下腺炎



RSウイルス感染症

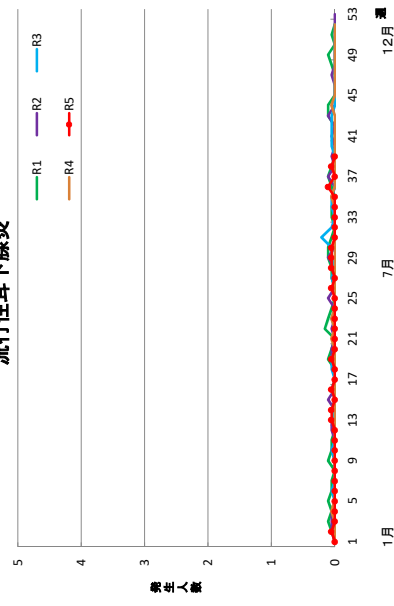


急性出血性結膜炎

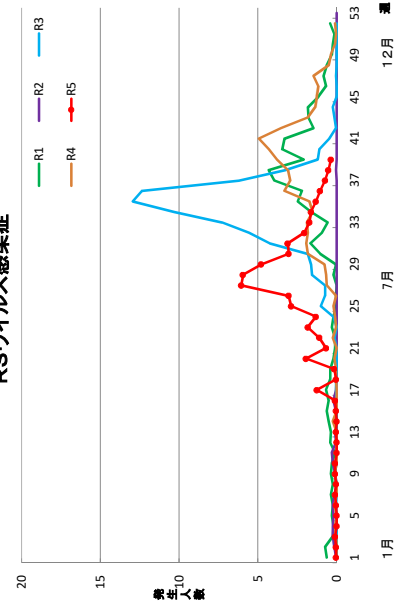


### 年次別発生状況グラフ(定点当たり)

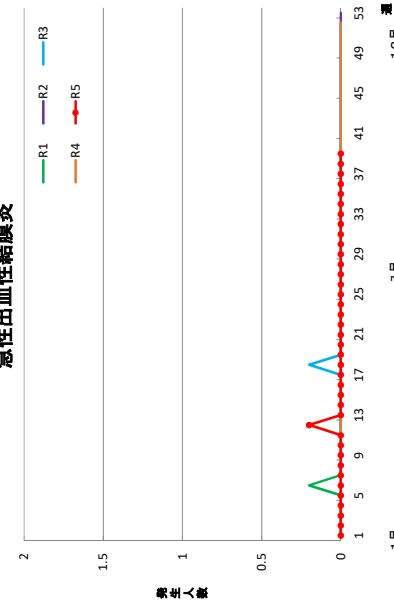
流行性耳下腺炎



RSウイルス感染症

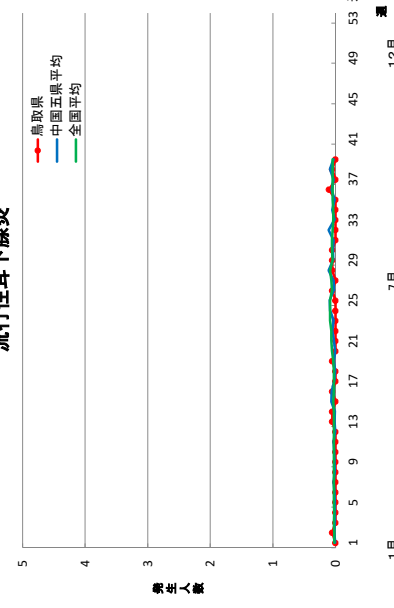


急性出血性結膜炎

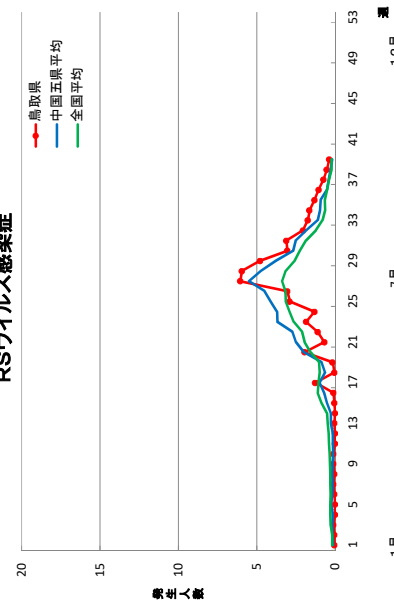


### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

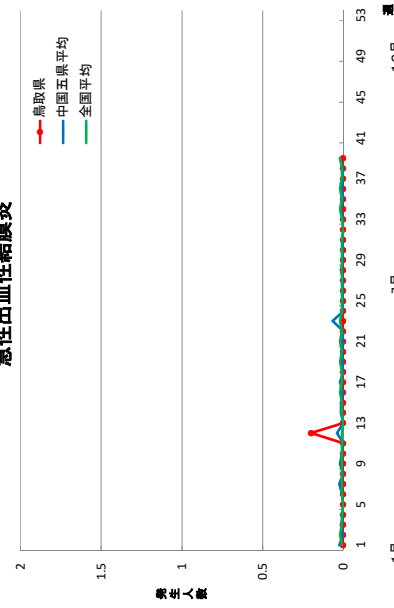
流行性耳下腺炎



RSウイルス感染症

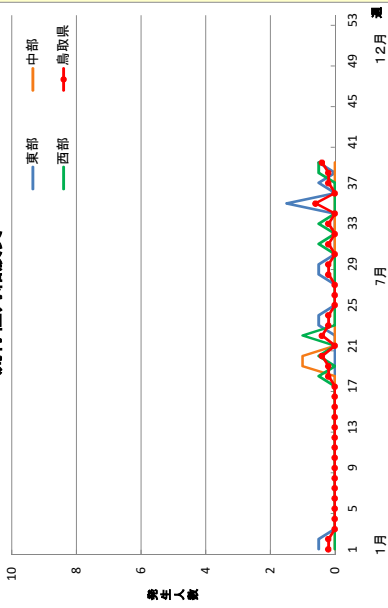


急性出血性結膜炎

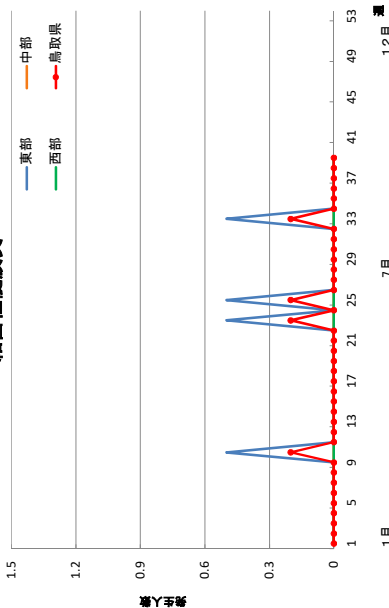


### 地区発生状況グラフ(定点当たり)

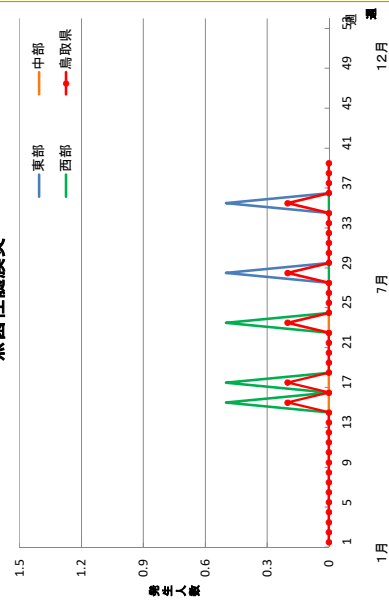
流行性角膜炎



細菌性髄膜炎

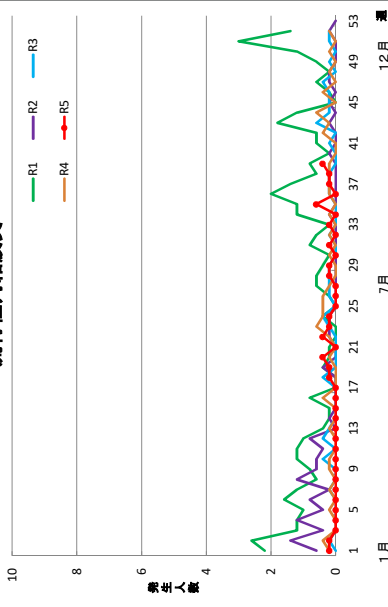


無菌性髄膜炎

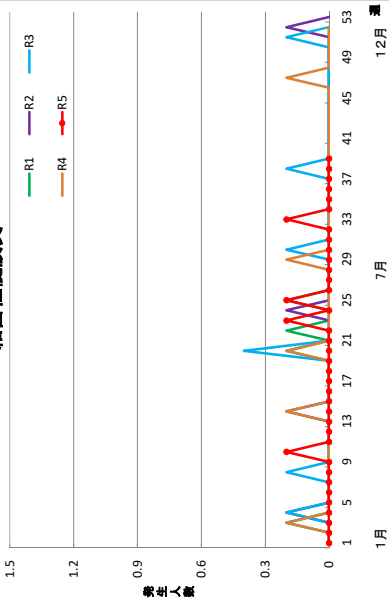


### 年次別発生状況グラフ(定点当たり)

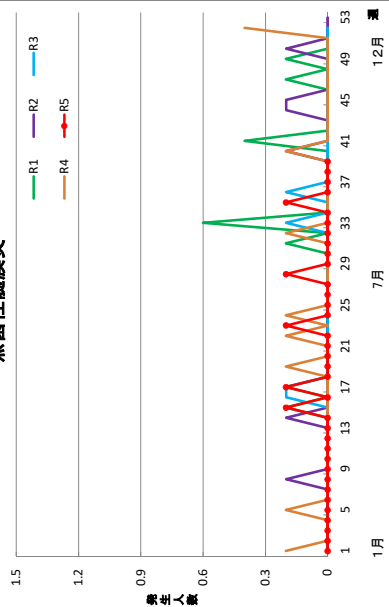
流行性角膜炎



細菌性髄膜炎

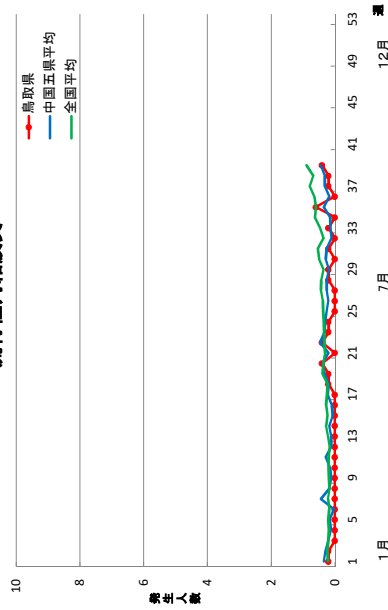


無菌性髄膜炎

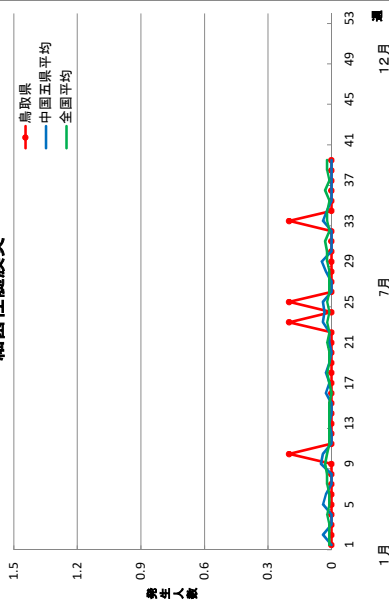


### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

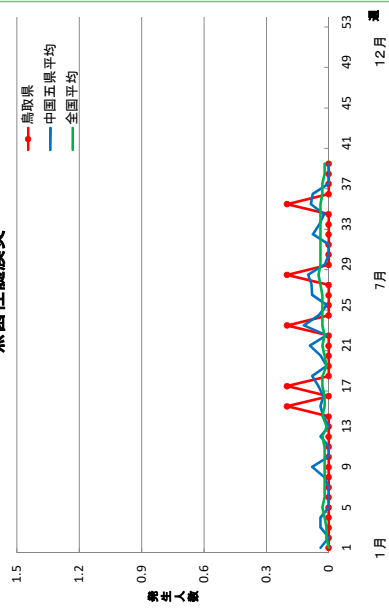
流行性角膜炎



細菌性髄膜炎

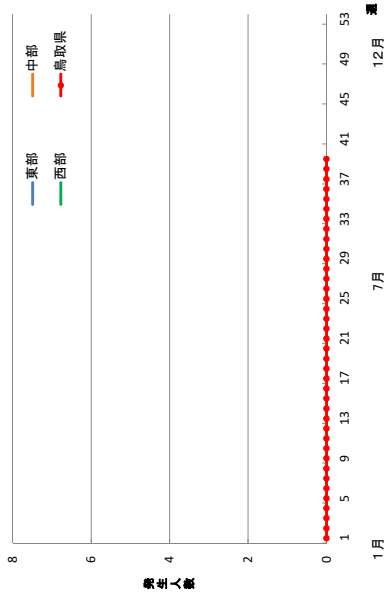


無菌性髄膜炎

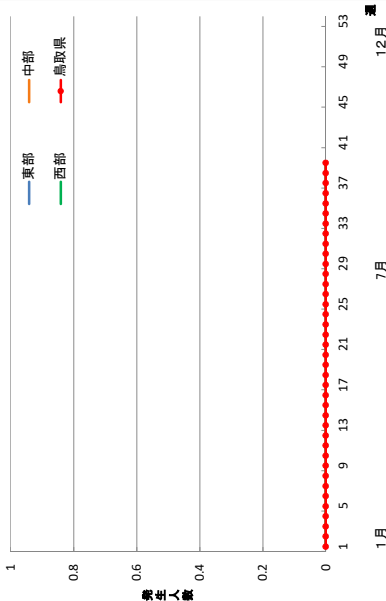


地区発生状況グラフ(定点当たり)

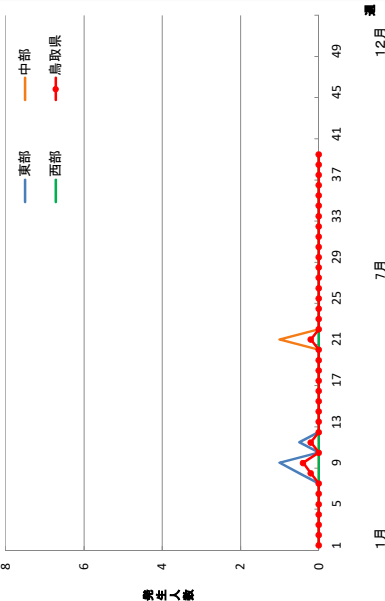
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)

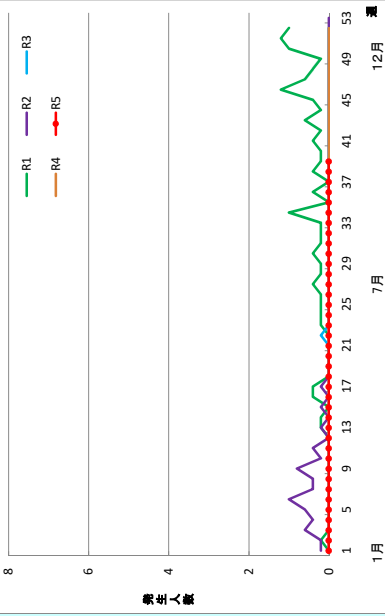


感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

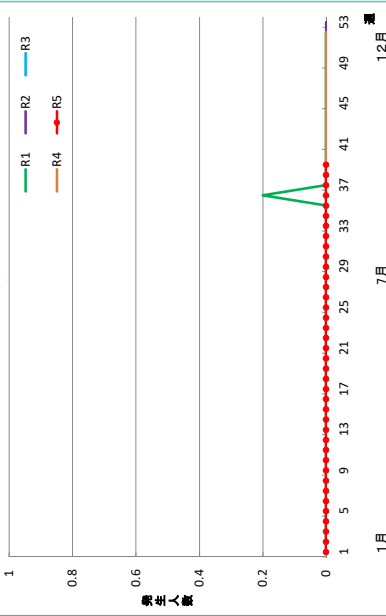


年次別発生状況グラフ(定点当たり)

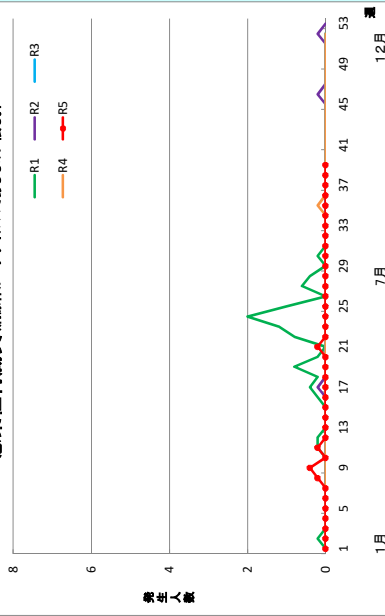
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)

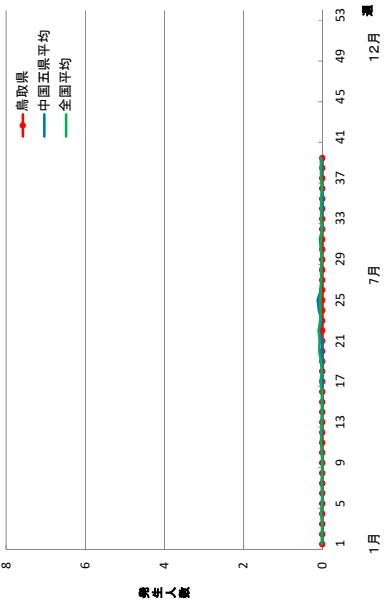


感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

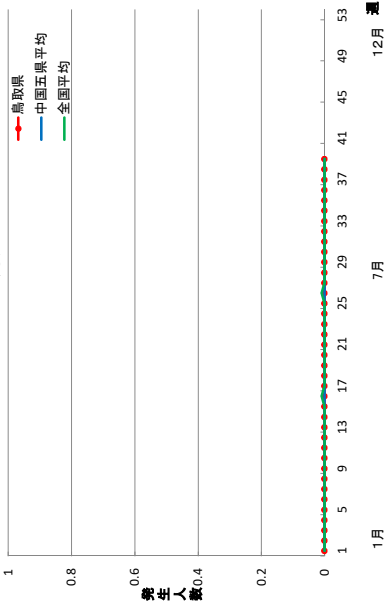


中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

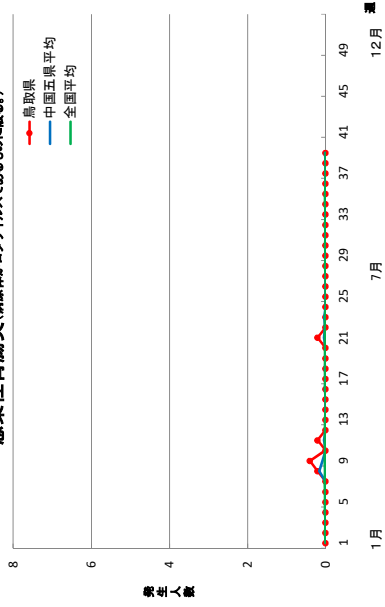
マイコプラズマ肺炎



クラミジア肺炎(オウム病を除く)

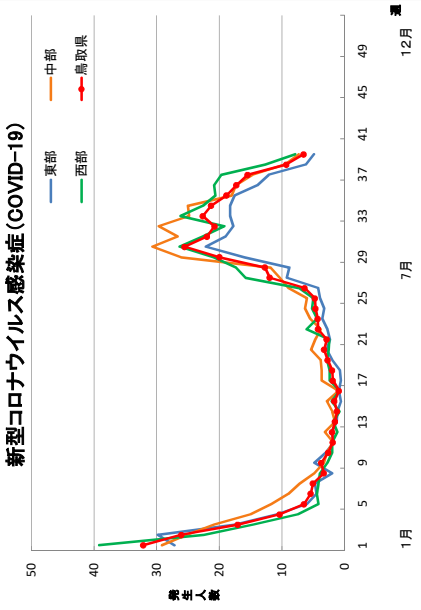


感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)



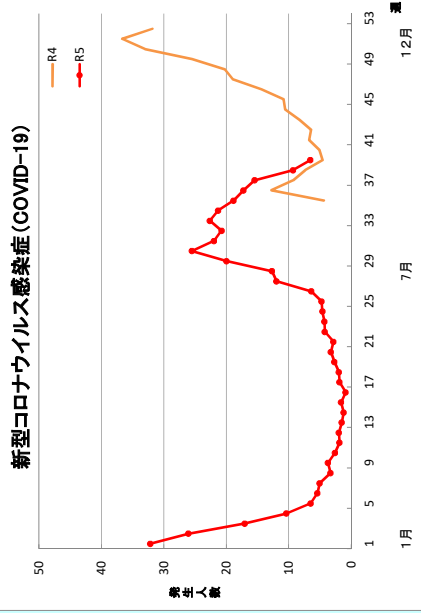


### 地区発生状況グラフ(定点当たり)

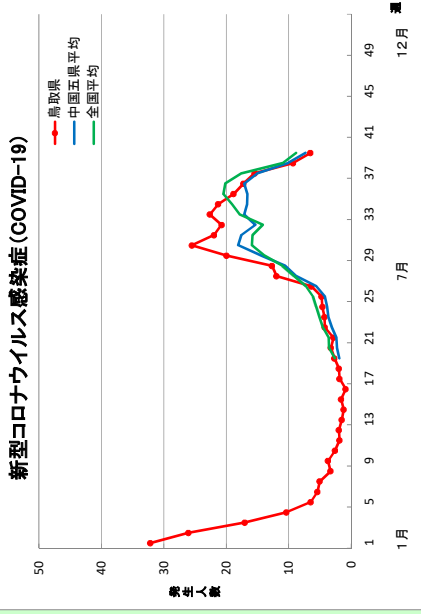


(注) 令和5年第18週(5/1~5/7)までは全数報告分のうち定点医療機関からの報告件数を元に算出。

### 年次別発生状況グラフ(定点当たり)

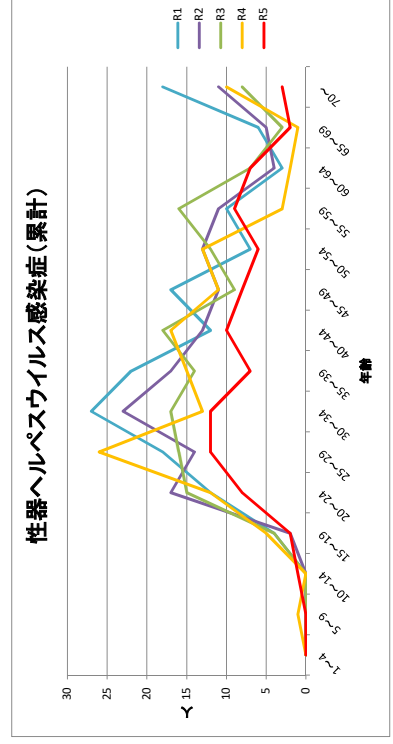
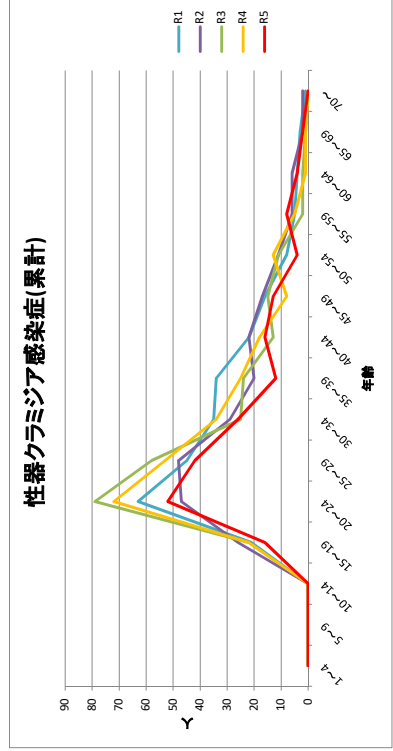
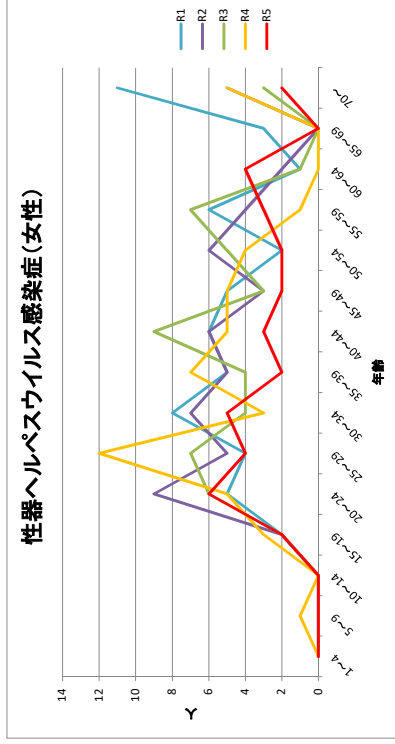
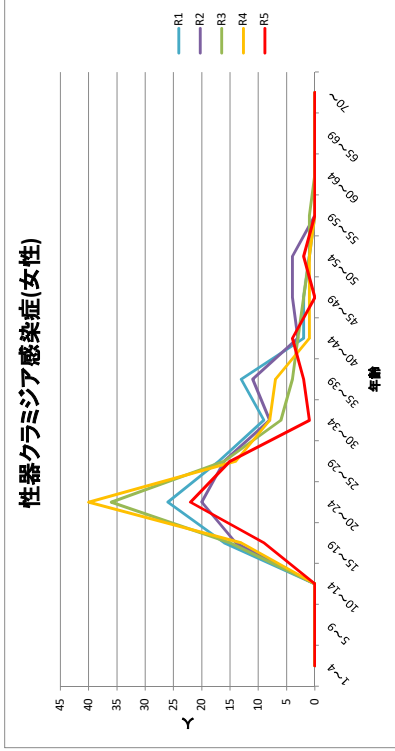
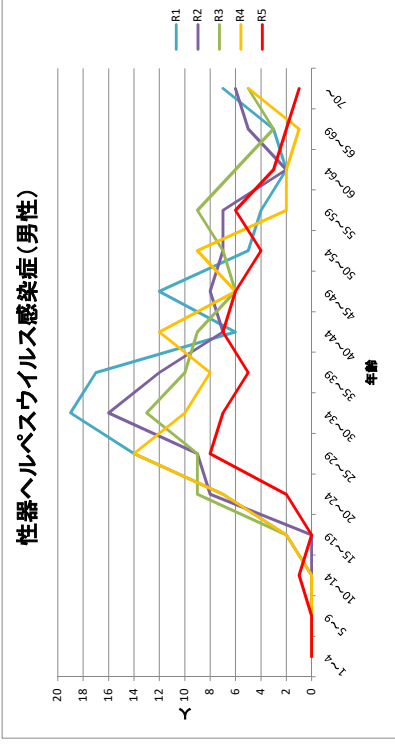
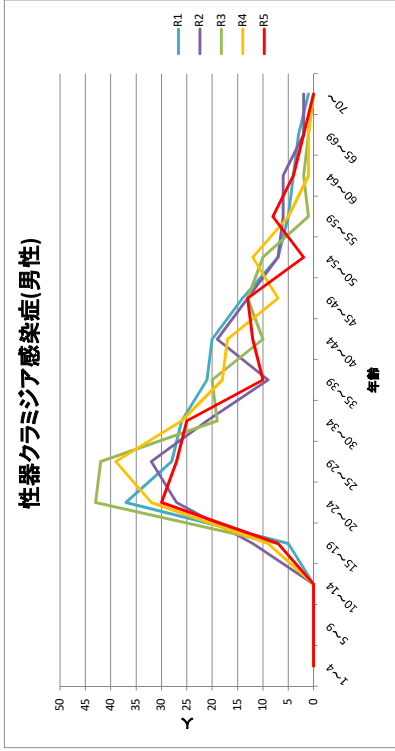


### 中国五県平均・全国平均との比較(定点当たり)

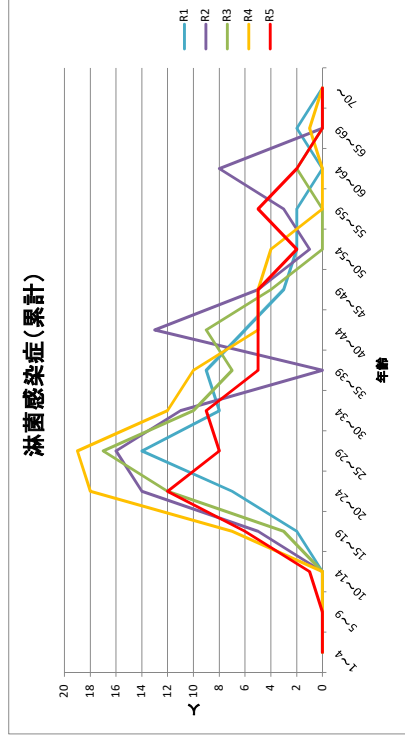
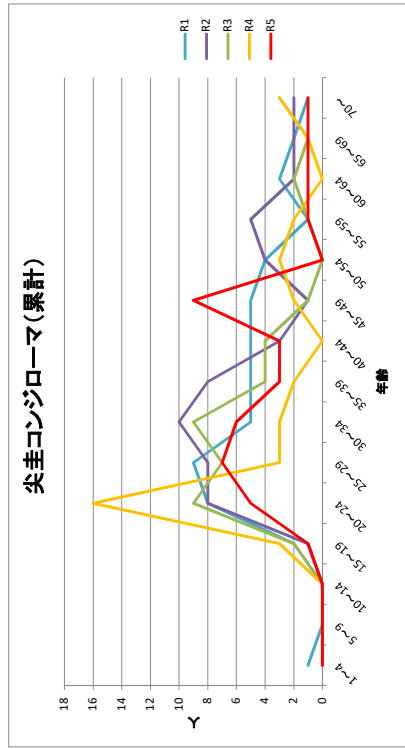
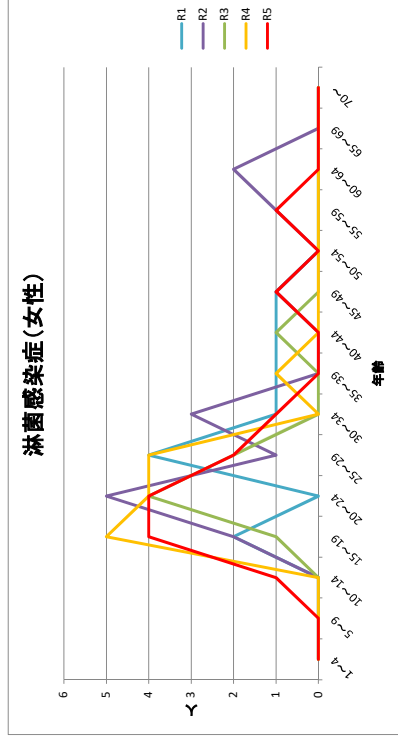
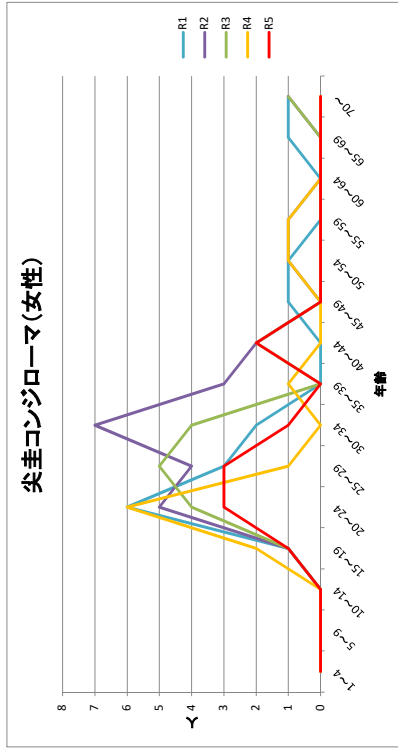
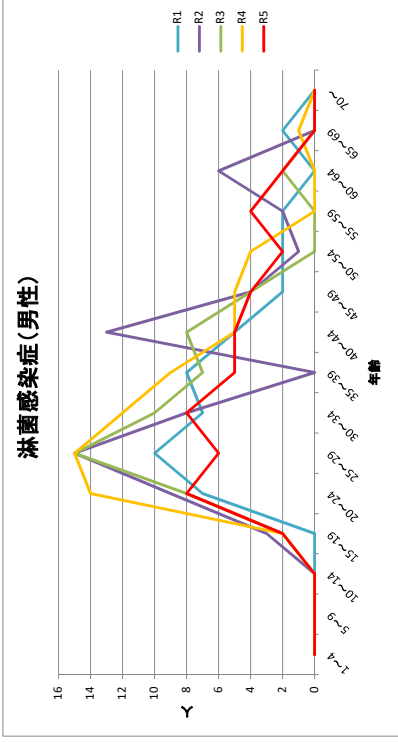
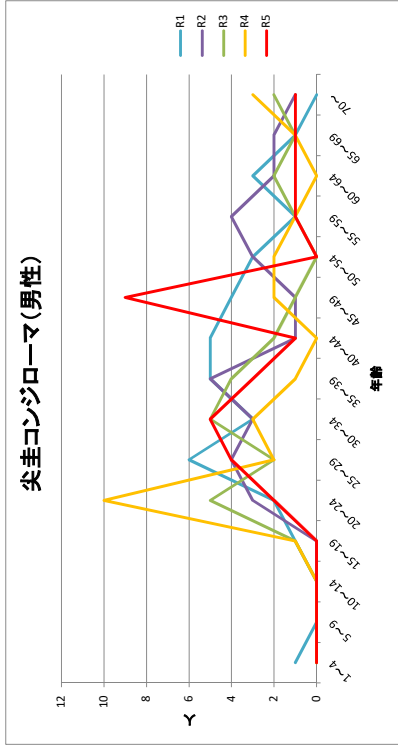




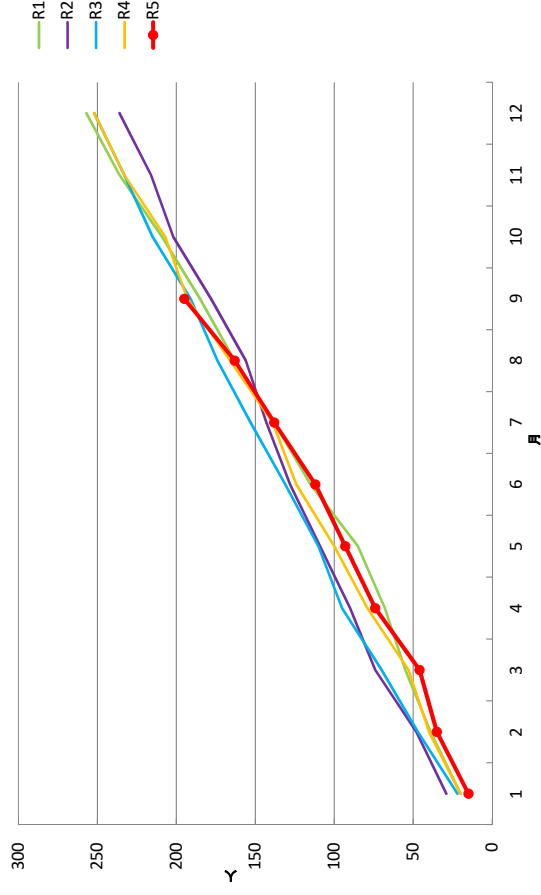
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



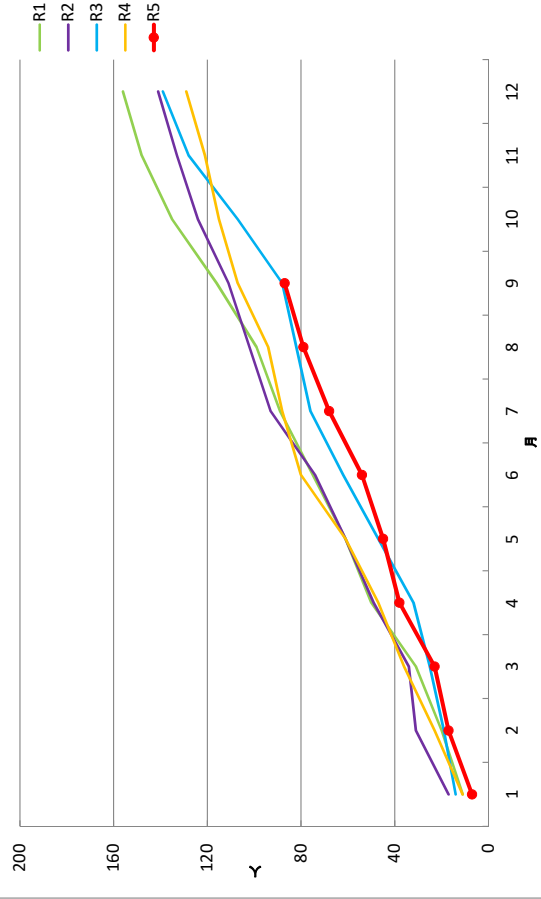
性感染症 年次別・年齢別・男女別累計グラフ



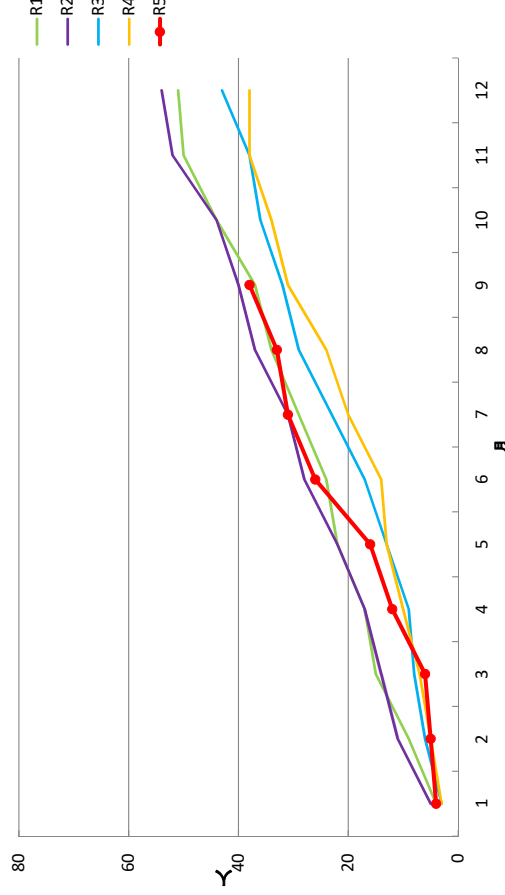
性器クラミジア感染症報告状況(累計)



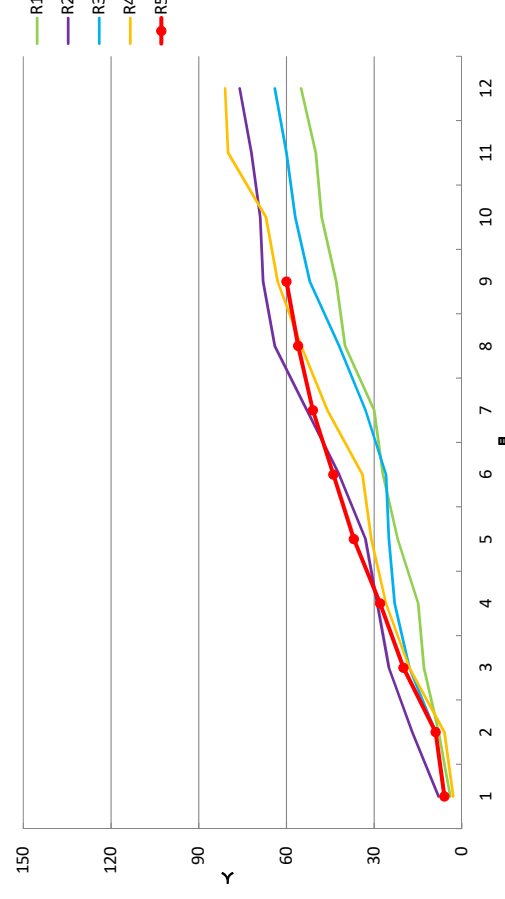
性器ヘルペスウイルス感染症報告状況(累計)



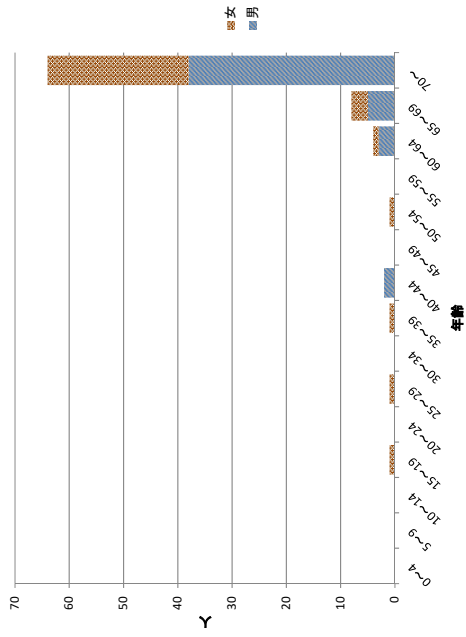
尖圭コンジローマ報告状況(累計)



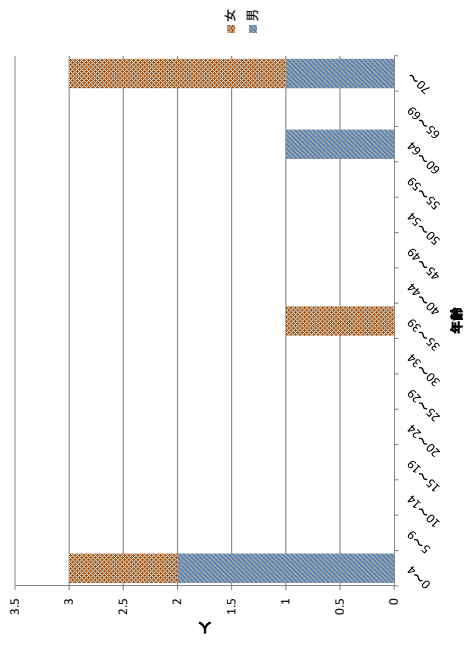
淋菌感染症報告状況(累計)



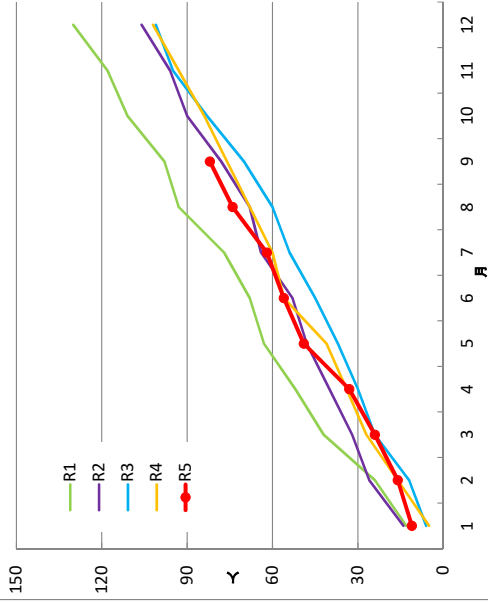
令和5年 メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症  
(年齢別累計)



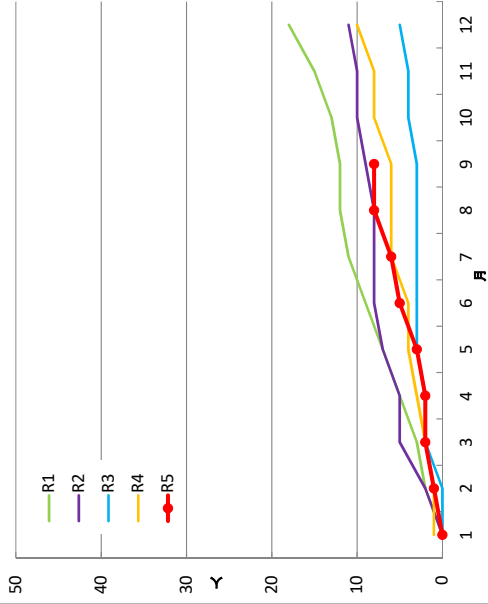
令和5年 ペニシリン耐性肺炎球菌感染症  
(年齢別累計)



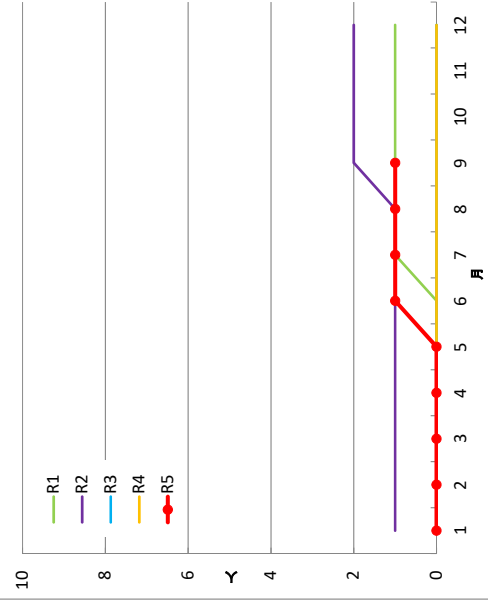
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症報告状況(累計)



ペニシリン耐性肺炎球菌感染症報告状況(累計)



薬剤耐性緑膿菌感染症報告状況(累計)



## 鳥取県における感染症発生状況(全数報告分・令和5年)

令和5年9月30日 現在  
※( )は前年数値

### (1)2類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													9月時点	年間	
急性灰白髄炎													0	(0)	(0)
結核	1 (8)	2 (11)	5 (3)	2 (5)	5 (4)	2 (6)	4 (1)	5 (3)	5 (5)	(6)	(2)	(3)	31	(46)	(57)
潜在性結核 ※再掲	(2)	(5)	2 (2)	(1)	1		(1)	2 (3)	1 (1)	(2)		(1)	6	(15)	(18)
疑似症患者 ※再掲													0	(0)	(0)
ジフテリア													0	(0)	(0)
重症急性呼吸器症候群													0	(0)	(0)
中東呼吸器症候群													0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H5N1)													0	(0)	(0)
鳥インフルエンザ(H7N9)													0	(0)	(0)

### (2)3類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													9月時点	年間	
コレラ													0	(0)	(0)
疑似症 ※再掲													0	(0)	(0)
細菌性赤痢													0	(0)	(0)
腸管出血性大腸菌感染症			(2)			1 (1)	(2)	5 (3)	9		(3)	(3)	15	(8)	(14)
腸チフス													0	(0)	(0)
パラチフス													0	(0)	(0)

### (3)4類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													9月時点	年間	
マラリア										(1)			0	(0)	(1)
E型肝炎							1						1	(0)	(0)
A型肝炎													0	(0)	(0)
つつが虫病	(1)			1	(1)								1	(2)	(2)
日本紅斑熱				(1)	1	(3)			1 (2)	(2)	(1)		2	(6)	(9)
重症熱性血小板減少症候群			1						1 (1)				2	(1)	(1)
レジオネラ症	1	(2)	(1)	1	2 (2)	2 (1)	1	(3)	1 (3)	(1)			8	(12)	(13)
レプトスピラ症													0	(0)	(0)
デング熱						1							1	(0)	(0)
チクングニア熱													0	(0)	(0)

### (4)5類感染症

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													9月時点	年間	
アメルバ赤痢			1		(1)	1							2	(1)	(1)
ウイルス性肝炎(E型・A型肝炎を除く)				1									1	(0)	(0)
急性脳炎(ウエストナイル脳炎及び日本脳炎等を除く)	(1)	(1)			2	(1)		1					3	(3)	(3)
クリプトスポリジウム症		1											1	(0)	(0)
クロイツフェルト・ヤコブ病													0	(0)	(0)
劇症型溶血性レンサ球菌感染症		1				1 (1)	1 (1)	1	1	(1)			5	(2)	(3)
後天性免疫不全症候群			2		1							(1)	3	(0)	(1)
無症候性キャリア ※再掲			1		1								2	(0)	(0)
AIDS ※再掲			1										1	(0)	(0)
侵襲性インフルエンザ菌感染症							2			(1)	(1)	(1)	2	(0)	(3)
侵襲性髄膜炎菌感染症													0	(0)	(0)
侵襲性肺炎球菌感染症	1 (1)	1	1 (1)	(2)		2 (1)	2	(2)	(1)	(1)	(1)		7	(8)	(10)
水痘(入院例に限る。)				(1)				1					1	(1)	(1)
梅毒	1	6 (3)	1 (1)	4 (3)	3 (1)	4	1 (3)	1	4 (1)		(2)	(1)	25	(12)	(15)
播種性クリプトコックス症			2			(1)					(1)		2	(1)	(2)
破傷風													0	(0)	(0)
薬剤耐性アシネトバクター感染症													0	(0)	(0)
カルバペネム耐性腸内細菌感染症		2	1	(1)	(1)						(1)		3	(2)	(3)
ジアルジア症			(1)										0	(1)	(1)
百日咳				1	1 (1)	1	(1)			(1)			3	(2)	(3)
麻しん						1							1	(0)	(0)
風しん													0	(0)	(0)

### (5)新型コロナウイルス感染症(5/8以降定点把握)

疾病名	1月	2月	3月	4月	5月(R5は7日まで)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													5月7日時点	9月時点	年間
新型コロナウイルス感染症	22,907(2063)	4,687(3097)	2,336(2588)	1,483(2912)	464(2877)	(1440)	(1239)	(2564)	(8376)	(5882)	(13300)	(29552)	31,877	(61395)	(110429)

腸管出血性大腸菌感染症の発生状況

① 月別件数

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計		
													9月時点	年間	
令和5年						1		5	9 (3)					15 (3)	15 (3)
令和4年		2 (2)				1	2	3			3 (1)	3		8 (2)	14 (3)
令和3年	1		3 (2)	1 (1)	2 (1)	2 (1)	1 (1)							10 (6)	10 (6)
令和2年			1		2 (1)	7 (1)	2	3 (2)	7 (4)	3 (1)		1		22 (8)	26 (9)
令和元年		1	1		6 (1)	1	2	4 (1)		3 (2)	4	2 (2)		15 (2)	24 (6)
平成30年					3	1	4 (2)	9	4	1				21 (2)	22 (2)
平成29年	1 (1)			1	1 (1)	7 (3)	5 (2)	1			4 (3)	1 (1)		16 (7)	21 (11)
平成28年						5 (4)	3 (1)	6 (1)	1			1 (1)		15 (6)	16 (7)
平成27年						3 (2)	33 (23)	12 (7)	10 (6)	1 (1)	1			58 (38)	60 (39)
平成26年						7 (4)	1	1	1	5 (3)				10 (4)	15 (7)
平成25年		1 (1)			1		6	7 (3)	4 (1)	7 (2)				19 (5)	26 (7)
平成24年						2	1	5 (1)		6 (2)		1		8 (1)	15 (3)
平成23年				1	5 (2)	3 (2)		2 (1)	3 (1)	4 (2)	1	1		14 (6)	20 (8)

② 血清型別件数

区分	O8	O26	O29	O91	O103	O119	O111	O121	O125	O128	O145	O146	O157	型不明	計
令和5年													15 (3)		15 (3)
令和4年					3							2 (2)	8	1 (1)	14 (3)
令和3年					4 (2)							1 (1)	3 (1)	2 (2)	10 (6)
令和2年	1	4 (2)	1		4 (2)		3 (1)		1 (1)	1		1 (1)	7	3 (2)	26 (9)
令和元年					3 (1)		4 (1)						15 (2)	2 (2)	24 (6)
平成30年		2			3						1		16 (2)		22 (2)
平成29年		1			2 (1)		4 (3)					1 (1)	10 (3)	3 (3)	21 (11)
平成28年		1 (1)											14 (5)	1 (1)	16 (7)
平成27年		40 (28)		1	4 (2)		1					1 (1)	9 (4)	4 (4)	60 (39)
平成26年		7 (4)					5 (3)						3		15 (7)
平成25年		3 (1)						1					21 (5)	1 (1)	26 (7)
平成24年													15 (3)		15 (3)
平成23年		9 (4)			2 (1)								7 (2)	2 (1)	20 (8)

③ 年齢別件数

区分	～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
令和5年	1	2 (1)	1	1	3	2 (1)	2 (1)	2			1	15 (3)
令和4年	5	1	2	1	1	2 (1)				2 (2)		14 (3)
令和3年	1		1 (1)		1 (1)			1 (1)	1 (1)	3 (2)	2	10 (6)
令和2年	7	2	2	2	1 (1)	4 (4)	3 (1)	3 (3)			2	26 (9)
令和元年	9 (2)	2			4 (2)	2		1 (1)	3 (1)	3		24 (6)
平成30年	2	2			10 (1)	3 (1)	1	2	1		1	22 (2)
平成29年	3 (1)	1	2 (1)	2 (1)	2 (2)	2 (2)	2 (2)	4 (3)	4 (1)		1	21 (11)
平成28年	4	4 (3)		1	2 (1)	3 (2)	1 (1)				1	16 (7)
平成27年	22 (13)	18 (12)	2 (1)	2 (2)	4 (4)	6 (3)	1 (1)	3 (2)			2 (1)	60 (39)
平成26年	6 (1)	3 (1)				2 (2)	2 (2)	1		1 (1)		15 (7)
平成25年	6	2	3 (1)	1	3 (1)	1	2 (1)	1 (1)	2 (1)	3 (1)	2 (1)	26 (7)
平成24年	3	3 (1)	3	1	2	2 (2)			1			15 (3)
平成23年	4 (1)	5			3 (1)	3 (2)		1 (1)	2 (2)	1	1 (1)	20 (8)

④ 地区別件数

区分	東部地区	中部地区	西部地区	計
令和5年	2	7 (1)	6 (2)	15 (3)
令和4年	5	(1)	3 (2)	14 (3)
令和3年	4	(2)	3 (2)	10 (6)
令和2年	3	15 (5)	8 (4)	26 (9)
令和元年	6	(2)	14 (3)	24 (6)
平成30年	7	5	10 (2)	22 (2)
平成29年	1	8 (4)	12 (7)	21 (11)
平成28年	2	(1)	12 (5)	16 (7)
平成27年	4	(4)	45 (31)	60 (39)
平成26年	1	8 (4)	6 (3)	15 (7)
平成25年	4	(1)	9 (3)	26 (7)
平成24年	7	(2)	7 (1)	15 (3)
平成23年		2 (1)	18 (7)	20 (8)



# 鳥取県病原微生物検出情報

(令和5年9月検出分；検体採取 令和5年8月～9月)

令和5年10月13日  
鳥取県衛生環境研究所

## 1 インフルエンザ

臨床診断名がインフルエンザの検体1件（検体採取9月中旬）について検査を実施したところ、インフルエンザ A (H1N1) pdm09 型が検出された。（詳細は表1のとおり）

表1 2022/23 シーズン鳥取県インフルエンザ検出情報

検体採取時期		検体採取場所	検出数	A型別、B系統別				備考
年	月日			A(H1N1)pdm09型	A H3型	B victoria	B 山形	
2023	4月3日	西部	1	1	0	0	0	
	6月16日	西部	1	0	1	0	0	
	7月5日	西部	1	0	1	0	0	
	8月22日	西部	1	0	1	0	0	
	9月11日	西部	1	1	0	0	0	
病原体定点PCR検査合計 (2023/4/3～現在)			5	2	3	0	0	

全国のインフルエンザ患者から分離・検出されたウイルスについては、国立感染症研究所の病原微生物検出情報（10月6日作成）によると、2023/24 シーズンはAH3型が最も多く検出されており、次いでA(H1N1) pdm09型が検出されている。なお、2022/23 シーズンもAH3型が最も多く報告されている。（図1、図2）

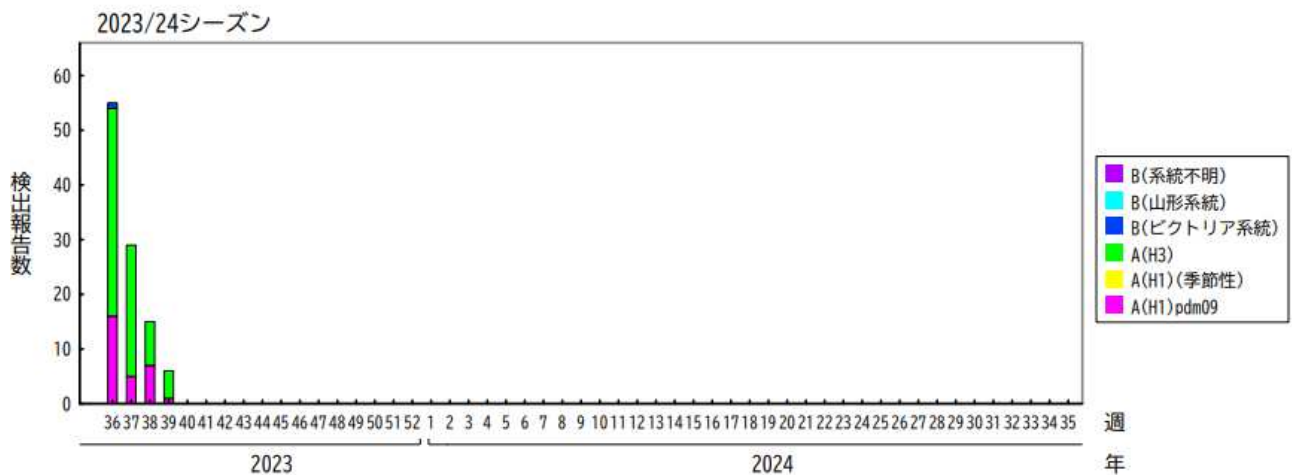


図1 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数 (2022/23 シーズン)

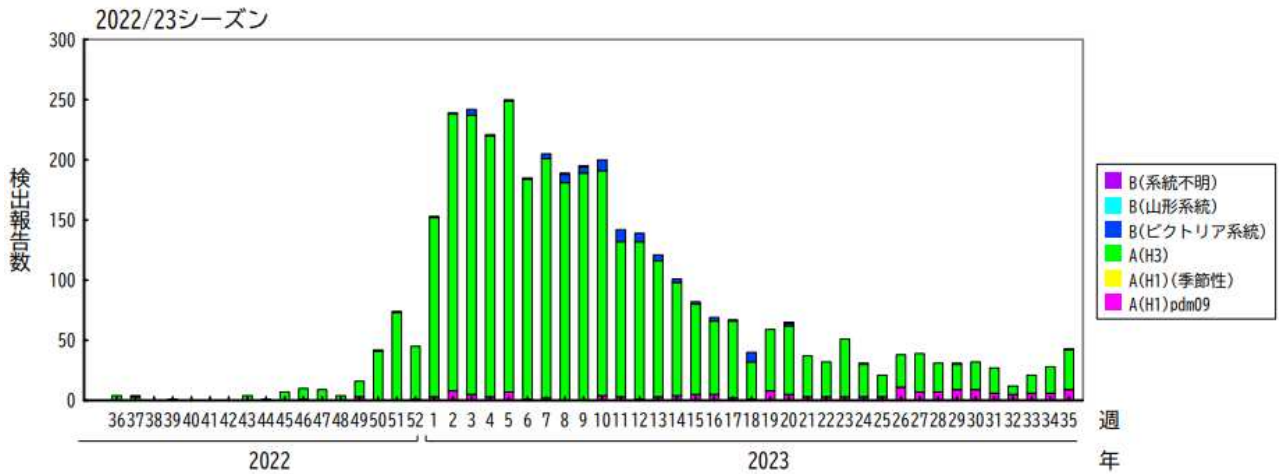


図2 週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数（2022/23 シーズン）

## 2 感染性胃腸炎

臨床診断名が感染性胃腸炎の検体3件について検査を行ったところ、エンテロウイルスA71型が1件検出された。（詳細は表2のとおり）

表2 感染性胃腸炎検査状況

検体番号	検体採取時期	ノロウイルス	サポウイルス	A群ロタウイルス	C群ロタウイルス	アデノウイルス	アストロウイルス	エンテロウイルス
230035	8月上旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	検出 エンテロウイルスA 71型
230036	8月中旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
230037	8月中旬	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)	(-)
検出計		0件	0件	0件	0件	0件	0件	1件

(-) : 未検出

## 3 咽頭結膜熱

臨床診断名が咽頭結膜熱の検体1件（検体採取8月中旬（検体番号 230038））について、アデノウイルスの検査を実施したところ、アデノウイルスは検出されなかった。

## 4 手足口病

臨床診断名が手足口病の検体2件（検体採取8月中旬（検体番号 230039）、検体採取8月下旬（検体番号 230040））について検査を実施したところ、いずれもエンテロウイルスが検出された。検出されたエンテロウイルスについては、型別不明であった。

## 5 流行性角結膜炎

臨床診断名が流行性角結膜炎の検体1件（検体採取8月上旬（検体番号 230034））について検査を実施したところ、アデノウイルスが検出された。検出されたアデノウイルスについては、型別不明であった。

国立感染症研究所の病原微生物検出情報（10月6日作成）によると、全国の咽頭結膜炎患者から分離・検出されたウイルスについては、アデノウイルス37型が最も多く報告されている。（図3）

\*各都道府県市の地方衛生研究所等からの分離/検出報告を図に示した

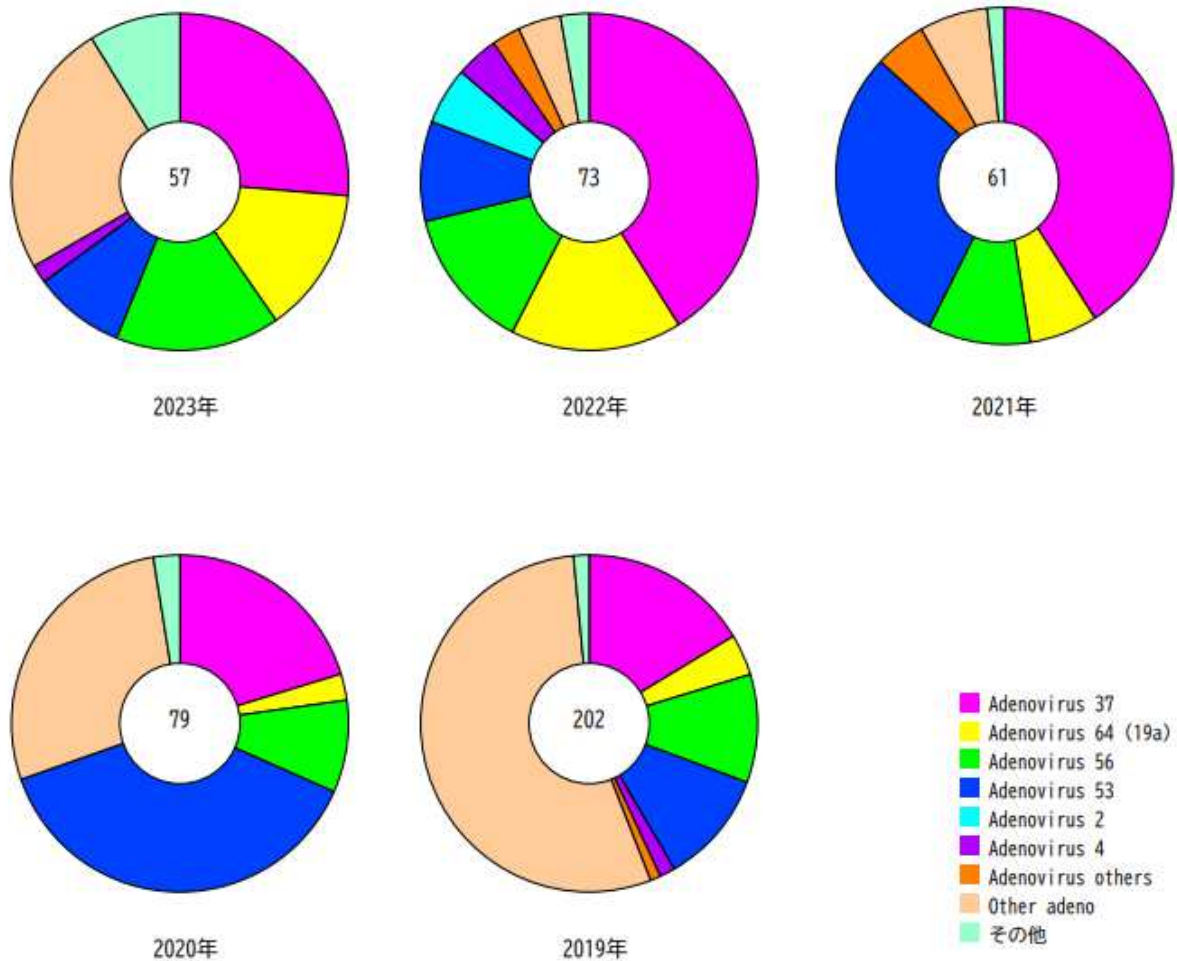


図3 流行性角結膜炎患者から分離・検出されたウイルス（2019年～2023年）  
※円グラフの中の数字は年ごとの分離・検出報告の総数

## 6 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

臨床診断名がA群溶血性レンサ球菌咽頭炎の検体1件（検体採取8月下旬（検体番号 230041））について検査を実施したところ、A群溶血性レンサ球菌は検出されなかった。

月別ウイルス等分離・検出状況（令和5年9月）

令和5年10月13日現在

ウイルスの種類		分離月		令和5年												計
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月			
エ ン テ ロ	エンテロウイルス 型不明							2	2						4	
	コクサッキーA 2型					2		1							3	
	コクサッキーA 4型							1							1	
	コクサッキーA 5型														0	
	コクサッキーA 6型														0	
	コクサッキーA 10型														0	
	コクサッキーA 16型														0	
	コクサッキーB 5型					1	4	1							6	
	エコー 5型														0	
	エコー 6型														0	
	エコー 11型														0	
	エコー 18型														0	
	エンテロウイルス A71型								1						1	
	その他のエンテロウイルス														0	
ライノ														0		
イ ン フ ル エ ン ザ	インフルエンザAH3型						1	1	1					3		
	インフルエンザA(H1N1)pdm09				1					1				2		
	インフルエンザB型ビクトリア系統													0		
	インフルエンザB型山形系統													0		
ムンプス														0		
R S	RS-A													0		
	RS-B													0		
	A群ロタ					1								1		
	C群ロタ					1								1		
	アストロ					3	2							5		
ノ ロ	ノロ GI 型													0		
	ノロ GII 型				3	1								4		
	サポ					2								2		
ア デ ノ	アデノ 型不明					1		1						2		
	アデノ 1型													0		
	アデノ 2型						1	2						3		
	アデノ 3型													0		
	アデノ 4型													0		
	アデノ 5型					1								1		
	アデノ 7型													0		
	アデノ 8型													0		
	アデノ 40/41型													0		
	アデノ 54型					1								1		
	アデノ 56型													0		
アデノ 64型													0			
	ヘルペス 3													0		
	ヘルペス 4							1						0		
	ヘルペス 5													0		
	ヘルペス 6							1						0		
	ヘルペス 7				1		2							3		
	パルボウイルスB19													0		
	A群レンサ球菌													0		
	黄色ブドウ球菌				1		1							2		